

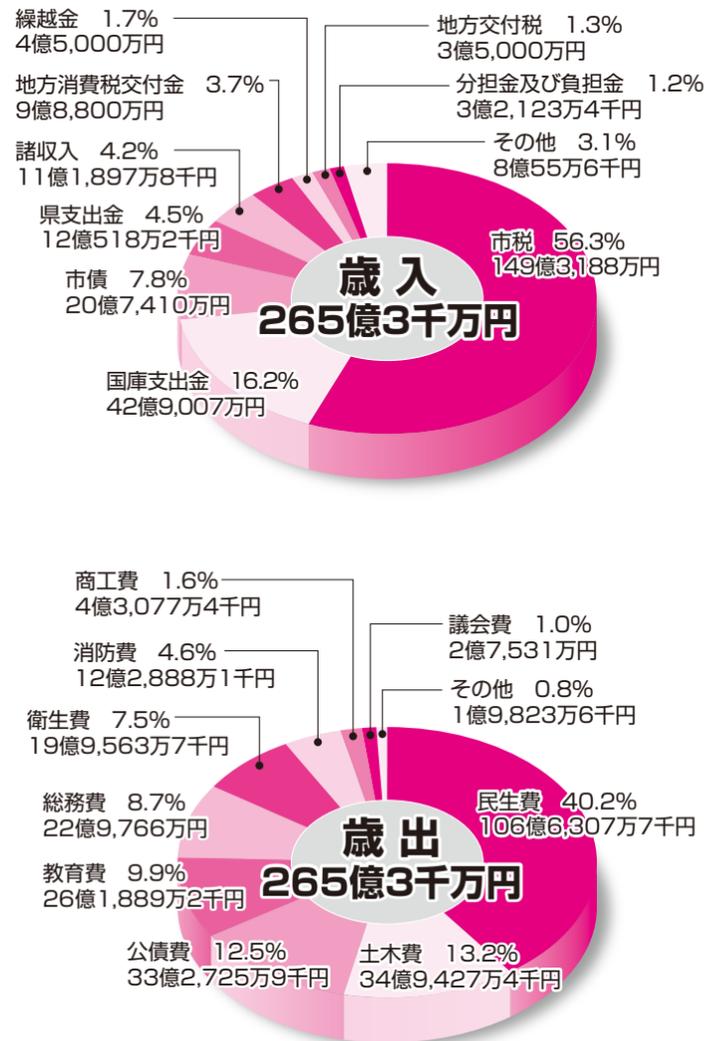
# 平成26年度当初予算の概要

## 平成26年度会計別予算総括表

(単位：千円、%)

会計区分	年度	平成26年度 予算額A	平成25年度 予算額B	対前年度比	
				増減額 C(A-B)	増減率 C/B×100
一般会計(ア)		26,530,000	26,510,000	20,000	0.1
特別会計	国民健康保険	10,048,364	9,845,461	202,903	2.1
	公共下水道	3,657,000	3,505,000	152,000	4.3
	稲荷伊草第二 土地地区画整理	190,500	106,500	84,000	78.9
	鶴ヶ曽根・二丁目 土地地区画整理	107,450	90,450	17,000	18.8
	大瀬古新田土地地区画整理	464,300	358,300	106,000	29.6
	西袋上馬場土地地区画整理	709,100	807,100	△98,000	△12.1
	南部東一体型特定 土地地区画整理	1,526,000	1,540,000	△14,000	△0.9
	介護保険	4,327,937	3,791,039	536,898	14.2
	後期高齢者医療	681,134	619,782	61,352	9.9
	計(イ)	21,711,785	20,663,632	1,048,153	5.1
上水道事業会計(企業会計)(ウ)		3,476,416	3,231,782	244,634	7.6
合計(ア+イ+ウ)		51,718,201	50,405,414	1,312,787	2.6

## 平成26年度一般会計予算内訳



### 討論

#### 反対討論(日本共産党)

平成26年度予算は、消費税率が3パーセントも引き上がる中で編成されています。八潮市でも、上・下水道料金の消費税率の引き上げが行われます。消費税率引き上げによる国民の負担は8兆円にも及ぶとされ、暮らしと経済に大きな影響を与えることは明らかです。市民の暮らしは、年金支給額や生活保護の生活扶助基準のさらなる引き下げ、70歳から74歳の医療費窓口負担を段階的に1割から2割とするなど、消費税率の引き上げと相まって、より一層、困難さを抱えるものとなります。

消費税率引き上げで、地方消費税交付金が増えますが、その多くは普通建設事業費等にかかるとして、消費税率の引き上げで相殺されてしまうと言つことになります。国は、消費税の引き上げ分を社会保障に充当するよう求めています。消費税率の引き上げは限られたものであるし、これまでの財源に取って代わるだけでは社会保障に取って代わるだけでは社会保障には厚くはならないので、特に相談支援業務の強化では、特に相談支援業務の強化を求めます。子ども医療費支給制度の年齢拡大について早期の実現を求めます。国保の法定減額割合を7割・5割・2割へとすべきです。学校給食費への消費税率引き上げには賛成できません。学校教育審議会における学校再編議論が大詰めを迎え

#### 賛成討論(自民クラブ)

平成26年度八潮市一般会計予算の歳入では、歳入の根幹を成す市税のうち、市たばこ税で減額が見込まれるものの、個人市民税、法人市民税及び固定資産税などでは、税制改正や景気の動向を的確に捉え、さらには、各税目で平成25年度当初予算を超える納税率を設定し、徴収に向けての努力がうかがえるところであり、その結果として、市税全体では、対前年度比約3億8500万円の増額となっています。一方、歳出では、都市基盤整備関係では、土地地区画整理事業に係る経費に積極的な予算措置がされており、また、北部地区の整備に係る経費、インフラの長寿命化に寄与する経費が計上されているなど、快適で便利な都市基盤の整備に向け取り組んでいる姿勢がうかがえます。

次に、生活環境関係では、市民の安全・安心確保のための経費として、要望の多い道路照明灯や道路反射鏡の設置に係る経費、また、前年度に引き続き、防犯カメラを設置するための経費が積極的に予算措置されています。福祉・健康関係では、低所得者・子育て世帯への臨時給

付金に係る経費や、昨今の行政課題である食物アレルギーへの対応や風しんの予防接種助成に係る経費などは、時宜を得たものと考えられます。また、今後の指針となる子ども・子育て、高齢者福祉、障がい者福祉に係る計画策定の経費も予算措置されており、将来に向けて、ふれあいと健康のまちづくりに向けた取り組み姿勢がうかがえるものと評価できます。産業振興関係では、八潮市都市農業振興基本計画に基づく諸施策をはじめ、中小企業への資金融資枠の拡大に係る経費や、市内事業者の受注機会の拡大及び住環境の向上を図るための住宅改修資金補助金を計上するとともに、観光振興事業に係る経費などを計上し、活力と活気にあふれるまちづくりに向け取り組んでいるものと考えられます。本予算案は、大山市長にとって初めての本格的な予算編成となるものであり、たゞいまま述べた施策以外にも、公約で掲げられたアセットマネジメントの導入経費など、バランス良く計上されており、大変厳しい財政状況のもとではあります。市民との共生・協働の理念のもと、住みやすさナンバー1のまちづくりを目指して、可能な限り積極的に対応しようとする姿勢を高く評価するものであります。以上、本予算の適正な執行に努めていただくとともに、今後も健全な行財政運営を期待いたしまして、ここに賛成の意を表し、討論といたします。